

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	子育てふれあいプラザ長町南
2 指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
3 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 令和5年度 50,149人(前年度比 210.1%) 内訳 ひろば:48,103人 託児:2,046人 ※視察等:730人 令和4年度 23,874人 令和3年度 14,495人</p> <p>《事業》 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業 子育てに関する事業を行う者(子育て支援活動団体)に関する事業、中高生に関する事業</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 23,027千円 (23,151千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 4,590千円 (4,486千円) ※託児収入 ・ その他収入 147千円 (21千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見箱の設置 ・ イベント参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守や服務規律について、法人独自のチェックシートを用いて全職員が年度当初に確認している。 ・協定書、仕様書を事務室内の文書棚にて管理し、職員内でいつでも確認できるようにすることで、のびすくの設置目的、基本方針の理解を深めている。 ・イベント、託児等利用者の数が限られるものの受け入れにあたっては、先着順を採用している。問い合わせのみで利用を保留された方には、定員に達した場合は利用できないことを伝えるなど、状況に合わせて丁寧な説明をしていることもあり、利用に関する苦情などはなされていない。 	21/21
II 施設の運営管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担とそれに応じたシフト表を作成しており、全職員が他の職員の業務を把握している。 ・日々のミーティングで業務内容の確認を行うほか、日誌の作成、引き継ぎにより、シフトや出勤時間の違いによる差が生まれないように努めている。 ・指定管理料を適正に執行するため、事業毎に経理書類の作成を行っている。 	29/29
III 施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や犯罪を未然に防ぎ、安全な施設運営を行うため、商業施設の警備員による巡回、警察の協力による不審者対応訓練を行っている。 ・南向きの広い窓があり、天気の良い日は自然光でも十分に明るい環境を保つことができるため、間引消灯を行っている。これに関する掲示を行い、利用者からの理解も得ている。 	19/19
IV サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・入館する商業施設の営業時間前は、のびすくへの入館ルートが異なるため、施設内の掲示や電話申し込み時の説明により、利用者が迷うことなく来館できるよう案内している。 ・法人で実施する研修に参加した職員が、ほかの職員にも資料の供覧や報告を行うことで、職員全体のスキルアップにつなげている。 ・意見箱の設置、利用者アンケートの実施のほか、日頃からひろば内で積極的に利用者とかかわることで、利用者の声を得られやすい体制を整えている。 	28/28
V 施設固有の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・発達が気になる乳幼児親子を対象とした「けやきっこひろば」を開催しており、毎回多くの参加がある。地域の発達支援施設の職員と連携し、参加者の希望に応じて必要な支援につなげた。 ・商業施設内にて運営していること、車と公共交通機関のどちらでも来館しやすいことをいかし、地域を問わず多くの利用者を受け入れている。ひろばでは、休日の父親利用が多いこと、託児では、買い物やリフレッシュ目的での利用が多いことも特徴である。 	9/9

三 評価総括

《指定管理者（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
<p>5月から利用制限が撤廃され本来のひろばが戻ってきた。月を追うごとに利用者の数は増えて8月には4,000人を超え、年度末の3月には5,000人を超えた。利用するお子さんの月齢にも幅がでてきたため、おもちゃの見直しをしてどの月齢のお子さんも楽しく過ごしてもらえるよう整えた。今年度は支援者支援と地域連携が広がった一年であった。利用が増えることに比例して支援者たちの活動も活発になり、イベントを開催したい、新しい取り組みを始めた等、のびすくを頼って来館される支援者たちも多くみられた。個人や団体問わず子育て中の家庭の力になりたいと行動してくれていることに、社会全体で子育てを支えようとする機運を感じられた。またララガーデン長町を通して商業施設のイベントにも参加した。長町南としては初めてとなるタイアップ企画で、幼稚園に入ると来館機会が減ってしまう3歳以上のお子さんに向けた夏休みのイベントを行い、懐かしい親子に会うこともできた。</p> <p>一時預かり事業においては、個別の配慮を必要とするお子さんの利用も多く保護者と連携しながら丁寧に対応した。預かり中に留意することやお子さんの発達に合わせた配慮を職員間で共有できるように定期的な会議も行った。</p> <p>相談事業ではけやきっこひろばが2年目に入り、ひろば職員も関わりながら運営できた。普段は幼稚園に行っているが、長期休みのけやきっこひろばには参加してくれる家庭やご家族揃って利用してくれる家庭もあり、この取り組みの必要性を再認識した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、5館の中で最多の利用者を受け入れ、多くの乳幼児親子の支援を行っている。昨年に引き続き、外遊びイベント「もりののびすく」を実施し、季節の自然に触れあいながら遊べる環境を提供した。リピーターの参加者もあり、好評を得ている。</p> <p>一時預かり事業では、快適な託児室内の整備、職員の質の向上に努め、利用者が安心して子どもを預けることができる環境を整えた。託児中だけではなく、お迎え時のコミュニケーションも大切にし、保護者に対し子どもの託児時の様子を事細かに伝えた。発達に特性がある子どもの利用の際は、必要に応じて受け入れ人数を調整するほか、のびすく子育てコーディネーター（NoKoCo）と連携しながらその後の支援にもつなげている。</p> <p>また、紙おむつや離乳食などで、未使用ながら不要になってしまったものを回収し、「はーとバンク」として館内窓口に設置し、利用者から好評を得ている。寄附数、利用数ともに増加しており、取り組みが定着してきている。</p> <p>このほか、小学生のお仕事体験、中学生のお仕事体験を受け入れたことで、地域の子育てに対する関心向上に努めている。乳幼児親子にとっても異年齢とかかわる機会となり、自身の子どもの成長がより楽しみになったと好評だった。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども家庭部子育て応援都市推進課